

**総合防除の普及推進を図るための令和6年度全国キャラバン
～総合防除の普及を目指すシンポジウム～
北陸地区 開催要領**

1. 趣旨

有害動植物の防除は、農業の持続的発展や食料安定供給確保にとって極めて重要である。近年、温暖化等の気候変動を背景として有害動植物の発生地域の拡大や発生量の増加、発生時期の変化が散見され、また、化学農薬に過度に依存した防除により、薬剤抵抗性を獲得した有害動植物が顕在化している。

このような中、「みどりの食料システム戦略」に基づき、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現していくため、化学農薬のみに依存しない様々な手法を組み合わせた「総合防除（IPM）」の取組拡大が重要かつ急務となっている。

2. 対応

北陸農政局管内の各県や各地域の農業者団体等が中心的役割を担う総合防除の普及推進を図るため、各県の方針や産地での具体的な取組事例、新規技術の共有等を通じて総合防除の普及促進の気運を醸成するキャラバンを開催することとする。

なお、本キャラバンでは、令和6年度中の改定を検討している IPM 実践指針の改定に向けた課題や対応策等に係る意見交換も併せて行うこととする。

3. 開催日時

令和6年10月15日（火） 13時00分 から16時15分

4. 開催場所及び開催方法

金沢広坂合同庁舎 1階大会議室（石川県金沢市広坂2丁目2番60号）
現地開催及びオンライン開催（Microsoft Teams）の併用（ハイブリッド方式）

5. 参集範囲

植物防疫、普及指導、試験研究を担当する自治体職員、農業者団体、民間事業者、研究機関、農業者、農林水産省職員等及び関心がある者

6. プログラム

別紙のとおり

7. 参加申し込み方法

北陸農政局 HP にて、10月8日（火）まで先着150人程度受付ける。

申し込み先

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/syouan/240906.html>

8. 問い合わせ先（開催事務局）

北陸農政局消費・安全部農産安全管理課 覚間、岸田 電話：076-232-4006(直通)

総合防除の普及推進を図るための令和6年度全国キャラバン
～総合防除の普及を目指すシンポジウム～
北陸地区 プログラム

1. 開会の挨拶

2. 第1部 産地で普及が進められる取組や今後期待される技術について

(1) 総合防除の推進に向けて

農林水産省消費・安全局植物防疫課

(2) グリーンな栽培体系への転換サポートによる取組

新潟市農林水産部農林政策課 渡辺 雄大氏

(3) JAグループにおける環境負荷低減の取組について

JA 全農耕種資材部西日本営農資材事業所農薬課 小野 広樹氏

(4) 総合防除の普及に資する新たな技術について

総合防除に関する農研機構開発技術のご紹介

～「みどりの食料システム戦略」技術カタログより～

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

中日本農業研究センター 竹内 博昭氏

3. 第2部 総合防除の普及拡大に向けた課題や対応策について

(1) 都道府県における総合防除の普及に向けた課題や取組

福井県農林水産部流通販売課 北島 義訓氏

(2) 総合防除の推進に向けた課題及び提案

① 「総合防除における農薬の役割」

(一社) 日本植物防疫協会支援事業部 中村 達都氏

② 総合防除 (IPM) 普及への取り組みと展望

(一社) 全国農業改良普及支援協会調査研究部 草間 直人氏

(3) IPM 実践指針の改定に向けて (意見交換等)

農林水産省消費・安全局植物防疫課

4. 閉会の挨拶

※途中、10 分の休憩を含む。